

目 次

第4版はしがき

序 社会生活と法	1
1 社会規範	1
2 法 規 範	1
3 法の目的	2
4 法の種類	3
5 法律関係と権利・義務	3
第1章 親子と法	4
1 法的人格	4
2 出 生	5
4 親子法の理念	7
4 実 親 子	8
5 養 親 子	9
第2章 学校と法	10
1 教育を受ける権利	10
2 学校とは何か	11
3 学校生活における子どもの法的地位	15
第3章 職場と法	22
1 労働法の意義	22

2	労働を取り巻く環境の変化	23
3	労働に関する基本ルール	26
4	非正規という働き方	32
第4章	婚姻と法	35
1	婚姻	35
2	婚姻の効果	37
3	婚姻の解消	38
4	離婚の効果	41
第5章	消費生活と法	46
1	日常生活における取引の原則と消費者問題	46
2	市民の生活を守る「消費者法」	48
3	身近な契約に潜む危険と被害に遭ったときの対策	50
4	食の安全と製造物責任	52
5	多重債務問題とその解決	54
第6章	住居と法	59
1	住居の多様性	59
2	自己所有住居の場合(1)——一戸建ての場合	60
3	自己所有住居の場合(2)——共同住宅の場合	63
4	他者所有住居の場合——賃貸借	66
第7章	事故と法	71
1	事故の種類と法	71
2	市民生活上生じる事故	72
3	事故被害の救済制度	81

第8章	情報と法	83
1	情報化社会	83
2	情報公開	86
3	プライバシーの権利	87
4	財産的情報	90
第9章	環境と法	95
1	環境問題の動向——環境基本法の制定にいたるまで	95
2	環境法における基本原則	98
3	循環型社会の形成	100
4	地球温暖化防止に向けて	103
5	環境紛争の解決方法	105
第10章	地域社会と法	109
1	私たちの暮らしと地方自治	109
2	地方自治体の組織と運営	112
3	住民自治の権利	115
第11章	犯罪と法	121
1	犯罪と刑罰	121
2	刑法の一般原理	123
3	個別の犯罪類型	130
第12章	裁判と法	134
1	裁判の種類	134
2	裁判所の種類と構成	134
3	裁判官その他の裁判所職員，検察官，弁護士	136

4	刑事裁判	139
5	民事紛争の解決手段	143
6	民事裁判	145
第13章	高齢社会と法	148
1	高齢化社会と法律	148
2	新たな成年後見制度の概要	152
3	扶 養	155
4	高齢者問題に対する最近の動き	159
第14章	死 亡 と 法	161
1	人の死亡とそれにかかわる法	161
2	相続の意義	162
3	現行相続制度	164
4	相続人と相続分	166
5	相続の承認および放棄	166
6	遺産の処理	169
7	遺言と遺留分	170
第15章	人権の尊重と法	172
1	人権という考え方	172
2	日本の人権保障	175
3	人権の国際化	182